

学校推薦型選抜

# 小 論 文

## 注 意 事 項

1. 「はじめ」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を除いて1枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。  
「はじめ」の合図があってから確かめなさい。
3. 監督者の指示に従い、解答用紙に受験番号を記入しなさい。ただし、氏名を書いてはいけません。
4. 文字などの印刷に不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 解答はすべて解答用紙に横書きで記入しなさい。ただし、「総得点欄」「採点欄」に記入してはいけません。
6. 試験終了後、配付された問題冊子、下書用紙は持ち帰りなさい。

# 問題用紙

## ( 小論文 )

以下の文章は、本学初代学長である川上正光先生による、第1回入学式学長告辞からの抜粋である。これを読み、問1および問2に答えなさい。

このように考察して参りますと、わが国で最も必要なものは“独創力の増強”であるということがはっきりしております。従って、本学の使命、目標、方針というものも自ら明瞭であると思えます。すなわち本学は、1にも2にも、“独創力の増進”を目標とするものでなければならないと信じます。

したがって本大学は

“考え出す大学”〔Think-out University〕

としたいと思えます。

これを達成するためには本学にあっては“自由”であり、“自主的”であり、“個性尊重”が徹底されなければなりません。換言すれば、諸君は型にはまった人間になるのではなく、各自がそれぞれの個性を思う存分に伸ばし、独創的人間に成長することを希望するものであります。ただし、今述べた“自由”ということは“自律”に裏付けされたものでなければならないことは申すまでもありません。

従って大学は単に知識や技術を切り売りする講習会場のようなものであってはならず、“少し教えて、多く考え工夫させる”鍛錬の場であるとともに実践の場でなければなりません。

(出典：長岡技術科学大学広報「VOS」1号(1978)、1-3 ページ、長岡技術科学大学 創設と理念)

【用語説明】 出典：『デジタル大辞泉』、小学館（2025年10月参照）

独創：模倣によらないで、独自の発想でつくりだすこと。また、そのもの。

換言：別の言葉で言い表すこと。言いかえること。

鍛錬：きびしい訓練や修養を積んで、技芸や心身を強くきたえること。

問1 独創的な発明、発見、あるいは製品や技術と言える事例を1つ挙げて、それについて 150 字以内で説明しなさい。

問2 あなたが本学に入学して独創力を伸ばすためには、大学で何に力を入れて学ぶのが良いと思うか、自分の将来像と結びつけながら、力を入れたいことを3つ挙げて 350 字以内で説明しなさい。